

宮城県特別支援学校PTA等連絡協議会

令和7年度「県へのお願い」の報告

宮城県特別支援学校PTA等連絡協議会（以下「宮特P連」と表記）は、令和7年11月25日（火）に県内各特別支援学校PTA等から提出して頂いた「県へのお願い」を、県庁にて提出させていただきました。

宮特P連会長（宮城県立西多賀支援学校PTA会長）望月 千尋が、知事へ「地域生活への移行に向けた支援について」、教育長へ「障害児の教育環境整備の推進について」の項目と内容を読み上げ、文書を手渡しました。それぞれ、宮城県保健福祉部長 志賀 慎治様、宮城県教育庁副教育長 遠藤 秀樹様に対応していただきました。



向かって左から

副会長 宮城県立視覚支援学校PTA会長
副会長 宮城県立聴覚支援学校PTA会長
宮城県保健福祉部長 志賀 慎治様
会長 宮城県立西多賀支援学校PTA会長
副会長 宮城県立船岡支援学校PTA会長
副会長 宮城県立小松島支援学校PTA会長



向かって左から

副会長 宮城県立小松島支援学校PTA会長
副会長 宮城県立視覚支援学校PTA会長
副会長 宮城県立船岡支援学校PTA会長
副会長 宮城県立聴覚支援学校PTA会長
会長 宮城県立西多賀支援学校PTA会長
宮城県教育庁副教育長 遠藤 秀樹様
特別支援教育課特別支援教育専門監 但木 伸行様
特別支援教育課副参事兼総括課長補佐 相澤 明子様

【 「県へのお願い」の内容（概要） 】

1 宮城県知事 村井 嘉浩 殿へ

地域生活への移行に向けた支援について（お願い）

① バリアフリーの充実について

県内の施設設備は、障害者差別解消法施行を受けた条例の制定、施行により、バリアフリー化、障害者への合理的配慮の提供を推進していただき、使いやすいものとなってきております。しかし、バリアフリーの視点から見るとまだまだ改善事項があり、さらなる環境整備やユニバーサルデザインの設備充実をお願いいたします。

② 地域生活に関する支援の充実について

放課後等デイサービス、ショートステイサービス施設、卒業後に入通所する福祉サービス事業所等の地域支援サービスの拡充、地域間格差の是正をお願いいたします。生涯を通じて地域で支援を受けられるよう体制の整備をお願いいたします。

③ 卒業後の進路先の充実について

就職を希望する障害者の就職先の拡大と企業への定着、卒業後の学びの場の選択機会拡大と福祉サービス事業所の増設など、進路先の充実をお願いいたします。

2 宮城県教育委員会 教育長 佐藤 靖彦 殿へ

障害児の教育環境整備の推進について（お願い）

① 狹隘化への対応について

狭隘化解消の一刻も早い実現をお願いいたします。

② 施設の改築と施設設備の改善について

県内支援学校の施設設備の改善についてお願いいたします。

③ 学習環境の充実について

医療的ケアを要する児童生徒に対する看護師の勤務体制の見直しをお願いいたします。児童生徒の多様な教育的ニーズに応える学びの場の実現に向けて、学習環境の整備をお願いいたします。

※ 詳しい内容と県からの回答に関しては、年度末に発行する会報に掲載します。

【 宮城県特別支援学校PTA等連絡協議会について 】

宮城県内の特別支援学校、本校、分校PTA等の代表で構成している団体です。各校同士の連絡、提携、情報交換等によって、特別支援学校の教育の振興と障害児の将来にわたる豊かな生活の確保を図ることを目的としています。

主な活動として、研修会の開催と「県へのお願い」が挙げられます。今年度は、第1回研修会を6月18日（水）に光明支援学校を会場に開催しました。第2回研修会は11月27日（木）に西多賀支援学校を会場に参集とオンライン配信を組み合わせたハイブリッドで開催しました。